

公立大学法人青森公立大学
令和2年度 業務実績報告書

令和3年6月

公立大学法人青森公立大学

目 次

	ページ
◎法人の概要	
第1 基本情報	1
第2 組織・役員・教職員情報	1
第3 学生に関する情報	1
第4 主な資産（土地・建物）	2
第5 理事会等の開催状況	4
第6 2021年度（令和3年度）青森公立大学入学者選抜実施状況	8
第7 2020年度（令和2年度）青森公立大学卒業・修了者就職状況	13
第8 公立大学法人青森公立大学 組織図	15
第9 公立大学法人青森公立大学 役員・部局長・審議会名簿	16
◎業務実績	
第1 全体評価（全体的実施状況）	19
第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	
1 教育に関する目標を達成するための措置	20
2 研究に関する目標を達成するための措置	30
3 地域貢献に関する目標を達成するための措置	33
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	41
第4 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	44
第5 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置	47
第6 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置	49

◎法人の概要

第1 基本情報

- 1 法人名： 公立大学法人青森公立大学
- 2 所在地： 青森県青森市大字合子沢字山崎153番地4
- 3 設立団体： 青森市
- 4 設立年月日： 平成21年4月1日
- 5 沿革： 平成5年4月 青森地域広域事務組合を設置者として青森公立大学開学
平成9年4月 青森公立大学大学院経営経済学研究科(修士)開設
平成10年4月 青森公立大学地域研究センター開設
平成17年12月 青森駅前再開発ビル(アウガ)に「まちなかラボ」開設
平成18年4月 経営経済学科を経営学科、経済学科、地域みらい学科に改編
平成19年4月 大学院経営経済学研究科(修士)を区分制博士課程に課程変更
平成21年4月 公立大学法人へ移行
" 教職課程(高校商業・高校公民1種免許及び専修免許)を開設
平成23年4月 青森公立大学地域連携センター開設

第2 組織・役員・教職員情報

- 1 組織図： 15頁参照
- 2 役員名簿： 16, 17頁参照
- 3 教職員数： 常勤職員数 68人(前年度 69人(1減))
(令和2年5月1日現在)
※学長(教授兼務)を除く
内訳：教員職員 41人(教授：13人 准教授：12人 講師：10人
教育担当特別教授：5人 特任教授：1人)
事務職員 27人(プロパー職員：19人 青森市からの出向者：3人
研究員：2人 学芸員：3人)
平均年齢 47.1歳
非常勤職員数 61人
内訳：非常勤講師 29人
事務職員 32人(嘱託職員：13人 臨時職員：19人)

第3 学生に関する情報

- 1 学部等の構成： 経営経済学部 経営学科・経済学科・地域みらい学科
経営経済学研究科 経営経済学専攻 博士前期課程・博士後期課程
- 2 学生数： 経営経済学部 1,282名

経営学科	557名
経済学科	552名
地域みらい学科	173名

(令和2年5月1日現在)
経営経済学研究科 12名

博士前期課程	9名
博士後期課程	3名

合計 1,294名

第4 主要な資産

1 土地

所在地	現況地目	地積 (㎡)
青森市大字合子沢字山崎152番6	原野	178,176.00
青森市大字合子沢字山崎152番8	原野	10,408.00
青森市大字合子沢字山崎152番9	原野	35,585.00
青森市大字合子沢字山崎153番1	原野	56,381.00
青森市大字合子沢字山崎153番2	原野	11,020.00
青森市大字合子沢字山崎153番3	原野	16,085.00
青森市大字合子沢字山崎153番4	原野	26,230.00
青森市大字合子沢字山崎153番6	原野	5,644.00
青森市大字合子沢字山崎153番8	原野	6,051.00
青森市大字合子沢字山崎156番46	原野	107.00
青森市大字合子沢字山崎156番47	原野	894.00
青森市大字合子沢字山崎156番48	原野	1,500.00
青森市大字合子沢字山崎186番36	原野	31,483.00
青森市大字合子沢字山崎186番108	原野	3,988.00
青森市大字合子沢字山崎186番109	原野	3.65
青森市大字合子沢字山崎186番110	原野	13.00
青森市大字合子沢字山崎186番112	原野	12,948.00
青森市大字合子沢字山崎186番114	原野	950.00
青森市大字合子沢字山崎220番2	原野	2,592.00
青森市大字合子沢字山崎220番86	原野	3,371.00
青森市大字合子沢字山崎220番110	原野	1,381.00
青森市大字合子沢字山崎220番111	原野	950.00
青森市大字合子沢字山崎220番112	原野	380.00
青森市大字合子沢字山崎220番113	原野	1,228.00
青森市大字合子沢字山崎220番114	原野	1,465.00
青森市大字合子沢字山崎222番2	原野	2,176.00
青森市大字合子沢字山崎223番2	原野	1,264.00
青森市大字合子沢字山崎223番5	原野	2.25
青森市大字合子沢字山崎324番1	原野	2,064.00
青森市大字合子沢字山崎324番2	原野	675.00
青森市大字横内字桜峰122番155	山林	4,384.00
青森市大字横内字桜峰122番283	山林	848.00
青森市大字雲谷字山吹92番21	原野	40,064.00
青森市緑一丁目8番9	宅地	1,803.29
青森市緑一丁目13番6	宅地	1,038.57
青森市緑二丁目17番4	宅地	1,783.28
青森市桂木三丁目25番32	宅地	670.96
	合計	465,607.00

2 建物

種 別	所 在 地	構 造	延床面積(m ²)
校舎棟	青森市大字合子沢字山崎 1 5 3 番地 4 ほか	鉄筋コンクリート造 陸屋根 5階建	13,769.08
体育館棟	青森市大字合子沢字山崎 1 5 2 番地 9	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	3,610.92
大学院棟	青森市大字合子沢字山崎 1 5 3 番地 1 ほか	鉄筋コンクリート造 陸屋根 3階建	2,876.78
交流会館	青森市大字合子沢字山崎 1 5 3 番地 1 ほか	鉄筋コンクリート造 陸屋根 3階建	4,414.22
交流会館講堂	青森市大字合子沢字山崎 1 5 2 番地 6 ほか	鉄筋コンクリート造 陸屋根 3階建	1,935.67
国際交流ハウス	青森市大字雲谷字山吹 9 2 番地 2 1	木造亜鉛メッキ鋼板葺 2階建	1,679.00
国際芸術センター青森	青森市大字合子沢字山崎 1 5 3 番地 1 ほか	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	3,604.88
教員宿舎 共同住宅 1 号棟	青森市緑一丁目 8 番地 9	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	1,961.60
教員宿舎 共同住宅 2 号棟	青森市緑二丁目 1 7 番地 4	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	1,076.20
教員宿舎 共同住宅 3 号棟	青森市桂木三丁目 2 5 番地 3 2	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	587.52
教員宿舎 共同住宅 4 号棟	青森市緑一丁目 1 3 番地 6	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	824.88
教員宿舎 学長舎	青森市緑二丁目 1 7 番地 4	木造亜鉛メッキ鋼板葺 平家建	194.40
		合 計	36,535.15

第5 理事会等の開催状況

1 理事会

開催日	審議事項
第1回 2020年 6月30日	議案第1号 令和元年度事業年度評価（業務実績報告書）について 議案第2号 令和元年度決算について
第2回 2020年7月22日 【持ち回り開催】	議案第3号 専任職員の採用について
第3回 2020年11月30日 【持ち回り開催】	議案第4号 公立大学法人青森公立大学役員報酬規程の一部を改正する規程の制定について 議案第5号 公立大学法人青森公立大学職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
第4回 2020年12月24日	議案第6号 公立大学法人青森公立大学第3期中期計画について 議案第7号 令和3年度当初予算編成方針について 議案第8号 教員職員の採用について 議案第9号 教員職員の昇任について 議案第10号 教員職員の退職について
第5回 2021年 3月25日	議案第11号 令和3年度年度計画について 議案第12号 令和3年度当初予算について 議案第13号 業務方法書の変更について 議案第14号 青森公立大学経営経済学部長の選考について 議案第15号 青森公立大学経営経済学研究科長の選考について 議案第16号 青森公立大学図書館長の選考について 議案第17号 青森公立大学地域連携センター長の選考について 議案第18号 公立大学法人青森公立大学事務職員人事評価実施規程の制定について

2 経営審議会

開催日	審議事項
第1回 2020年 6月23日	① 学長選考会議委員の選出について ② 令和元年度事業年度評価（業務実績報告書）について ③ 令和元年度決算について
第2回 2020年7月22日 【持ち回り開催】	① 専任職員の採用について
第3回 2020年11月10日	① 公立大学法人青森公立大学第3期中期計画（素案）について
第4回 2020年11月30日 【持ち回り開催】	① 公立大学法人青森公立大学役員報酬規程の一部を改正する規程の制定について ② 公立大学法人青森公立大学職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
第5回 2020年12月21日	① 公立大学法人青森公立大学第3期中期計画について ② 令和3年度当初予算編成方針について
第6回 2021年 3月18日	① 令和3年度年度計画（案）について ② 令和3年度当初予算（案）について ③ 業務方法書の変更について ④ 公立大学法人青森公立大学事務職員人事評価実施規程の制定について

3 教育研究審議会

開催日	審議事項
第1回 2020年 4月15日	① 2020年度地域連携センター事業について ② 2020年度秋のアーティスト・イン・レジデンス事業（公募型）における候補アーティストの選定案について ③ 2020年度学部学事暦の変更について ④ 2020年度大学院学事暦の変更について ⑤ 青森公立大学大学院特待奨学生の継続審査結果について ⑥ 青森公立大学大学院特待奨学生の新規候補者の審査委員会設置について
第1回【臨時】 2020年4月30日 【持ち回り開催】	① 2020年度学部学事暦の変更について ② 2020年度大学院学事暦の変更について
第2回【臨時】 2020年5月20日 【持ち回り開催】	① 2020年度図書館予算配分（案）について
第2回 2020年6月17日	① 2020年度学部学事暦表（変更案）について ② 青森公立大学大学院特待奨学生候補者の審査結果について ③ 教員の公募について ④ 教員の昇任人事について ⑤ 令和元年度業務実績報告書について ⑥ 2020年度戦略的研究助成事業の申請について（公募型）
第3回【臨時】 2020年7月15日 【持ち回り開催】	① 2020年度研究科学事暦（変更案）について
第3回 2020年9月16日	① 2021年度学部学事暦案について ② 2021年度国際芸術センター青森事業計画案について ③ 大学院科目担当に係る業績審査委員会の設置について ④ 教員の公募について
第4回【臨時】 2020年10月16日 【持ち回り開催】	① 教員の採用に係る業績審査結果について ② 教員の公募について（学部）
第5回【臨時】 2020年11月18日	① 教員の採用に係る業績審査結果について ② 学部長候補者推薦委員会の設置について ③ 研究科長候補者推薦委員会の設置について
第4回 2020年12月9日	① 教員の採用に係る業績審査結果について ② 教員の昇任に係る業績審査結果について ③ 公立大学法人青森公立大学第3期中期計画（案）について
第6回【臨時】 2021年1月13日 【持ち回り開催】	① 教員の採用に係る業績審査結果について

開催日	審議事項
第5回 2021年2月17日	① 2021年度学部学事暦について ② 2021年度大学院学事暦について ③ 学部長予定者について ④ 研究科長予定者について ⑤ 特任教授の再任について ⑥ 教育担当特別教授の再任について ⑦ 大学院科目担当に係る業績審査結果について ⑧ 長期履修申請について
第7回【臨時】 2021年3月10日	① 令和3年度年度計画（案）について ② 令和3年度当初予算（案）について ③ 青森公立大学図書館長予定者について ④ 青森公立大学地域連携センター長予定者について ⑤ 大学院科目担当に係る業績審査結果について ⑥ 青森公立大学大学院特待奨学生継続審査の審査委員会設置について

第6 2021年度（令和3年度）青森公立大学入学者選抜実施状況

1 経営経済学部

選抜区分	試験日	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	出身地等内訳	備考	
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜(県内)	115名	125名 (60)	125名 (60)	121名 (60)	121名 (60)	東青: 50 県内: 71 県外: 0		
	学校推薦型選抜(県外)	15名	24名 (12)	24名 (12)	24名 (12)	24名 (12)	東青: 0 県内: 0 県外: 24		
小計		130名	149名 (72)	149名 (72)	145名 (72)	145名 (72)	東青: 50 県内: 71 県外: 24		
総合型選抜	I期	30名	79名 (38)	79名 (38)	33名 (21)	33名 (21)	東青: 11 県内: 12 県外: 10		
	II期	海外帰国子女	若干名	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]		
		社会人	若干名	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]		
		外国人留学生	若干名	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]		
小計		30+若干名	79名 (38) [0]	79名 (38) [0]	33名 (21) [0]	33名 (21) [0]	東青: 11 県内: 12 県外: 10		
一般選抜	前日程	130名	520名 (153) [41]	468名 (133) [38]	202名 (65) [17]	141名 (46) [12]	東青: 24 県内: 31 県外: 86		
	後日程	10名	94名 (33) [5]	94名 (33) [5]	13名 (5) [0]	1名 (0) [0]	東青: 0 県内: 0 県外: 1		
	小計	140名	614名 (186) [46]	562名 (166) [43]	215名 (70) [17]	142名 (46) [12]	東青: 24 県内: 31 県外: 87		
総計		300名	842名 (296) [46]	790名 (276) [43]	393名 (163) [17]	320名 (139) [12]	東青: 85 (26.6 %) 県内: 114 (35.6 %) 県外: 121 (37.8 %)		
(注) 1 ()は女の内数、[]は卒業生(高校卒業程度認定試験合格者を含む)の内数を表す。						昨年度	328名 (146) [16]	75名 (22.9 %) 108名 (32.9 %) 145名 (44.2 %)	

2 経営学科

選 抜 区 分	試 験 日	募 集 人 員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数	出 身 地 等 内 訳	備 考	
学 校 推 薦 型 選 抜	学校推薦型選抜(県内)	45 名	42 名 (22)	42 名 (22)	45 名 (25)	45 名 (25)	東青: 14 県内: 31 県外: 0	【合格者・入学者のうち】 2名(女)：経済で志願・受験 2名(男)・1名(女)：地域みらいで志願・受験	
	学校推薦型選抜(県外)	6 名	8 名 (3)	8 名 (3)	10 名 (5)	10 名 (5)	東青: 0 県内: 0 県外: 10		
	小 計	51 名	50 名 (25)	50 名 (25)	55 名 (30)	55 名 (30)	東青: 14 県内: 31 県外: 10		
総 合 型 選 抜	I 期	9 名	30 名 (13)	30 名 (13)	10 名 (6)	10 名 (6)	東青: 2 県内: 2 県外: 6		
	II 期	海外帰国子女	若干名	0 名 (0)	0 名 (0)	0 名 (0)	0 名 (0)		
		社会人	若干名	0 名 (0)	0 名 (0)	0 名 (0)	0 名 (0)		
		外国人留学生	若干名	0 名 (0)	0 名 (0)	0 名 (0)	0 名 (0)		
	小 計	9+若干名	30 名 (13)	30 名 (13)	10 名 (6)	10 名 (6)	東青: 2 県内: 2 県外: 6		
一 般 選 抜	前期日程	60 名	250 名 (84)	226 名 (73)	96 名 (36)	70 名 (26)	東青: 14 県内: 19 県外: 37		
	後期日程	5 名	50 名 (22)	50 名 (22)	5 名 (3)	0 名 (0)	東青: 0 県内: 0 県外: 0		
	小 計	65 名	300 名 (106)	276 名 (95)	101 名 (39)	70 名 (26)	東青: 14 県内: 19 県外: 37		
総 計		125 名	380 名 (144)	356 名 (133)	166 名 (75)	135 名 (62)	東青: 30 県内: 52 県外: 53	(22.2 %) (38.5 %) (39.3 %)	

(注) 1 ()は女の内数、[]は卒業生(高校卒業程度認定試験合格者を含む)の内数を表す。

3 経済学科

選 抜 区 分	試 験 日	募 集 人 員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数	出 身 地 等 内 訳	備 考
学 校 推 薦 型 選 抜	学校推薦型選抜(県内)	50 名	56 (21) 名	56 (21) 名	52 (20) 名	52 (20) 名	東 青 : 29 県 内 : 23 県 外 : 0	【志願者・受験者のうち】 〔合格・入学〕 〔合格者・入学者のうち〕 〔合格・入学〕 〔合格者・入学者のうち〕
	学校推薦型選抜(県外)	6 名	8 (2) 名	8 (2) 名	9 (3) 名	9 (3) 名	東 青 : 0 県 内 : 0 県 外 : 9	【合格者・入学者のうち】 〔合格・入学〕 〔合格者・入学者のうち〕 〔合格・入学〕
	小 計	56 名	64 (23) 名	64 (23) 名	61 (23) 名	61 (23) 名	東 青 : 29 県 内 : 23 県 外 : 9	
総 合 型 選 抜	I 期	9 名	26 (7) 名	26 (7) 名	10 (4) 名	10 (4) 名	東 青 : 3 県 内 : 4 県 外 : 3	
	II 期	海外帰国子女	若干名	0 (0) 名	0 (0) 名	0 (0) 名		
		社会人	若干名	0 (0) 名	0 (0) 名	0 (0) 名		
		外国人留学生	若干名	0 (0) 名	0 (0) 名	0 (0) 名		
小 計	9+若干名	26 (7) 名	26 (7) 名	10 (4) 名	10 (4) 名	東 青 : 3 県 内 : 4 県 外 : 3		
一 般 選 抜	前期日程	60 名	242 (53) 名	218 (46) 名	96 (21) 名	62 (13) 名	東 青 : 9 県 内 : 10 県 外 : 43	
	後期日程	5 名	44 (11) 名	44 (11) 名	8 (2) 名	1 (0) 名	東 青 : 0 県 内 : 0 県 外 : 1	
	小 計	65 名	286 (64) 名	262 (57) 名	104 (23) 名	63 (13) 名	東 青 : 9 県 内 : 10 県 外 : 44	
	総 計	130 名	376 (94) 名	352 (87) 名	175 (50) 名	134 (40) 名	東 青 : 41 (30.6 %) 県 内 : 37 (27.6 %) 県 外 : 56 (41.8 %)	

(注) 1 ()は女の内数、[]は卒業生(高校卒業程度認定試験合格者を含む)の内数を表す。

4 地域みらい学科

選 抜 区 分	試 験 日	募 集 人 員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数	出 身 地 等 内 訳	備 考	
学 校 推 薦 型 選 抜	学校推薦型選抜(県内)	20 名	(27) 名	(17) 名	(15) 名	(15) 名	東青: 7 県内: 17 県外: 0	【高願者・受験者のうち】 2名(男)・女1): 経済で合格・入学 1名(女): 経済で合格・入学	
	学校推薦型選抜(県外)	3 名	(8) 名	(7) 名	(4) 名	(4) 名	東青: 0 県内: 0 県外: 5	【高願者・受験者のうち】 2名(女): 経済で合格・入学 1名(女): 経済で合格・入学	
小 計		23 名	(35) 名	(24) 名	(19) 名	(19) 名	東青: 7 県内: 17 県外: 5		
総 合 型 選 抜	I 期	12 名	(23) 名	(18) 名	(11) 名	(11) 名	東青: 6 県内: 6 県外: 1		
	II 期	海外帰国子女	若干名	(0) 名	(0) 名	(0) 名	(0) 名		
		社会人	若干名	(0) 名	(0) 名	(0) 名	(0) 名		
		外国人留学生	若干名	(0) 名	(0) 名	(0) 名	(0) 名		
小 計		12+若干名	(23) 名	(18) 名	(11) 名	(11) 名	東青: 6 県内: 6 県外: 1		
一 般 選 抜	前期日程	10 名	(28) 名	(14) 名	(8) 名	(7) 名	東青: 1 県内: 2 県外: 6		
	後期日程	- 名	(-) 名	(-) 名	(-) 名	(-) 名			
	小 計	10 名	(28) 名	(14) 名	(8) 名	(7) 名	東青: 1 県内: 2 県外: 6		
総 計		45 名	(86) 名	(56) 名	(38) 名	(37) 名	東青: 14 (27.5 %) 県内: 25 (49.0 %) 県外: 12 (23.5 %)		

(注) 1 ()は女の内数、[]は卒業生(高校卒業程度認定試験合格者を含む)の内数を表す。

5 大学院

選 拔 区 分	試 験 日	募 集 人 員	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数	出 身 地 等 内 訳	備 考
前期課程（修士課程）	学内推薦選抜		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	東青: 1 県内: 0 県外: 0	
	社会人選抜	4名	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	東青: 1 県内: 0 県外: 0	
	一般選抜		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	東青: 0 県内: 0 県外: 0	
	小 計	4名	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	東青: 2 県内: 0 県外: 0	
後期課程（博士課程）	社会人特別選抜		1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	東青: 0 県内: 0 県外: 0	
	一般選抜	2名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	東青: 0 県内: 0 県外: 0	
	小 計	2名	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	東青: 0 県内: 0 県外: 0	
	合 計	6名	3 (1)	3 (1)	3 (1)	2 (1)	東青: 2 県内: 0 県外: 0	(100.0 %) (0.0 %) (0.0 %)
			昨 年 度			6 (2)	東青: 3 県内: 0 県外: 3	(50.0 %) (0.0 %) (50.0 %)

(注) ()は女子内数を表す。

第7 2020年度（令和2年度）青森公立大学卒業・修了者就職状況
1 学部

2021年5月1日確定

4年次在籍者 311人
卒業者 295人

(14年度生 女1人：15年度生 女1人：16年度生 男2人：17年度生 男148人、女143人)

就職希望者 275人

就職以外 20人

進学希望者 1人（大学院進学希望者 1人）

その他 19人（留学 3人：公務員再挑戦 6人：一時的・臨時 2人：就職の意思なし 5人：その他 3人）

(1) 就職状況（昨年同時期との比較）

区分	就職希望者(人)			うち就職決定者(人)			就職率(%)			
	2020年度 (A)	2019年度 (B)	A-B	2020年度 (E)	2019年度 (F)	E-F	2020年度 (G)=(C/A)	2019年度 (H)=(D/B)	G-H	
男	経営	60	83	△ 23	60	83	△ 23	100.0	100.0	0.0
	経済	64	77	△ 13	64	75	△ 11	100.0	97.4	2.6
	地域みらい	13	12	1	12	12	0	92.3	100.0	△ 7.7
	計	137	172	△ 35	136	170	△ 34	99.3	98.8	0.5
女	経営	60	48	12	59	48	11	98.3	100.0	△ 1.7
	経済	52	52	0	52	52	0	100.0	100.0	0.0
	地域みらい	26	29	△ 3	26	29	△ 3	100.0	100.0	0.0
	計	138	129	9	137	129	8	99.3	100.0	△ 0.7
合計	275	301	△ 26	273	299	△ 26	99.3	99.3	0.0	

(2) 学科別就職状況

区分	就職希望者(人)	就職決定者(人)	就職率(%)
経営	120	119	99.2
経済	116	116	100.0
地域みらい	39	38	97.4
計	275	273	99.3

(3) 就職決定者の本社所在地

区分	青森県			北海道			首都圏			その他					
	管内(人)	管内以外(人)	管内以外(%)	管内計(人)	管内割合(%)	管内以外(%)	管内(人)	割合(%)	管内(人)	割合(%)	管内(人)	割合(%)			
男	136	28	20.6	25	18.4	53	39.0	8	5.9	41	30.1	23	16.9	11	8.1
女	137	28	20.5	31	22.6	59	43.1	3	2.2	34	24.8	35	25.5	6	4.4
計	273	56	20.5	56	20.5	112	41.0	11	4.0	75	27.5	58	21.3	17	6.2

※管内：青森市、平内町、外ヶ浜町、今別町、蓮田村

(4) 学科別業種別内訳（就職決定者）

区分	サービス業 (総合業)			製造業	公務	建設業	電気・ガス	運輸業	情報通信業	不動産業	飲食店・宿泊業	教育・学芸支援業	医療・福祉	農林水産	計
	管内(人)	管内以外(人)	管内以外(%)												
経営	20	30	25	6	9	5	0	3	14	1	0	1	5	0	119
経済	33	23	13	9	15	4	0	1	8	2	1	4	3	0	116
地域みらい	8	7	6	4	4	2	0	0	2	2	1	1	1	0	38
就職決定者(人)	61	60	44	19	28	11	0	4	24	5	2	6	9	0	273
構成比(%)	22.3	22.0	16.1	7.0	10.3	4.0	0.0	1.5	8.8	1.8	0.7	2.2	3.3	0.0	100.0

2 大学院

大学院については2020年度修了者なし

第9 公立大学法人青森公立大学 役員・部局長・審議会名簿

1 法人役員

令和3年3月31日現在

職名	氏名	任期	備考
理事長	八 桁 幸 男	H29. 4. 1～R3. 3. 31	
副理事長	香 取 薫	H30. 4. 1～R4. 3. 31	学長
理事（非常勤）	今 喜 典	H29. 4. 1～R3. 3. 31	公益財団法人21あおもり産業総合支援センター理事長
理事（非常勤）	佐 藤 敬	R2. 4. 6～R3. 3. 31	青森中央学院大学学長
理事（非常勤）	小山内 豊彦	H29. 4. 1～R3. 3. 31	青森県立保健大学特任教授
理事（非常勤）	小 野 大 介	H29. 4. 1～R3. 3. 31	青森トヨタ自動車(株)代表取締役社長
監事（非常勤）	石 田 恒 久	H31. 4. 1～R4年度に係る財務諸表承認日	石田法律事務所代表
監事（非常勤）	米 田 孝 嗣	H31. 4. 1～R4年度に係る財務諸表承認日	米田孝嗣税理士事務所代表

2 学長・部局長

職名	氏名	任期	備考
学長	香 取 薫	H30. 4. 1～R4. 3. 31	
学部長	神 山 博	H31. 4. 1～R3. 3. 31	
研究科長	藤 井 一 弘	H31. 4. 1～R3. 3. 31	
図書館長	香 取 真 理	H31. 4. 1～R3. 3. 31	
地域連携センター長	香 取 薫	H31. 4. 1～R3. 3. 31	
事務局長	森 田 新	(事務局長の職にある期間)	

3 経営審議会

職名	氏名	任期	備考
議長	八 桁 幸 男	H29. 4. 1～R3. 3. 31	理事長
職務代理者	香 取 薫	H30. 4. 1～R4. 3. 31	副理事長
委員	今 喜 典	H29. 4. 1～R3. 3. 31	理事
委員	佐 藤 敬	R2. 4. 6～R3. 3. 31	理事
委員	小山内 豊彦	H29. 4. 1～R3. 3. 31	理事
委員	小 野 大 介	H29. 4. 1～R3. 3. 31	理事
委員	神 山 博	H31. 4. 1～R3. 3. 31	理事長が指名する職員 (学部長)
委員	森 田 新	H31. 4. 1～R3. 3. 31	理事長が指名する職員 (事務局長)
委員	織 田 知 裕	R2. 4. 27～R3. 5. 25	法人役職員以外の有識者
委員	宍 倉 慎 次	R1. 5. 26～R3. 5. 25	法人役職員以外の有識者

4 教育研究審議会

職名	氏名	任期	備考
議長	香 取 薫	H30. 4. 1～R4. 3. 31	学 長
職務代理者	神 山 博	H31. 4. 1～R3. 3. 31	学部長
委員	佐 藤 敬	R2. 6. 15～R3. 3. 31	学長が指名する理事
委員	藤 井 一 弘	H31. 4. 1～R3. 3. 31	学長が定める重要な組織の 長 (研究科長)
委員	香 取 真 理	H31. 4. 1～R3. 3. 31	学長が定める重要な組織の 長 (図書館長)
委員	香 取 薫	H31. 4. 1～R3. 3. 31	学長が定める重要な組織の 長 (地域連携センター長)
委員	森 田 新	(事務局長の職にある期間)	学長が定める重要な組織の 長 (事務局長)
委員	飯 田 俊 郎	H31. 4. 1～R3. 3. 31	学長が指名する職員 (学部教授会選出委員)
委員	樺 克 裕	H31. 4. 1～R3. 3. 31	学長が指名する職員 (学部教授会選出委員)
委員	藤 沼 司	H31. 4. 1～R3. 3. 31	学長が指名する職員 (研究科教授会選出委員)

◎業務実績

第1 全体評価（全体的実施状況）

令和2年度の年度計画に対する業務実績は、以下に示すとおりであり新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施が困難であった業務等は、可能な限り代替措置を講じ実施した。教育、研究、地域貢献及びその他の業務のいずれも中期計画の進捗は概ね順調であることから、全体としても概ね順調であると評価する。

＜第2-1 教育、第2-2 研究、第2-3 地域貢献＞

教室については、これまでの取組に加え、

① 教育内容として、学士課程ではカリキュラム改正に伴い新たに4科目の開講、大学院課程ではデータ分析士の履修証明プログラムの開講

② 教育の実施体制として、学生食堂・交流ホール・喫茶室のWi-fi環境や教室のプロジェクト・ディスプレイの更新

③ 学生の受入として、本学主催進学説明会の秋田市での初開催

④ キャンパス支援として、県内企業パステアラーの強化

など、令和2年度 年度計画に基づく新規又は重点的な取組を確実に実施してきた。

研究については、年度計画に基づく新規又は重点的な取組はなかったものの、これまでの取組を着実に実施してきた。

地域貢献については、21あおもり産業総合支援センターと連携した「創業・起業セミナー」の開催、青森圏域連携中核都市圏を形成する青森市、今別町、外ヶ浜町と学生による「青森まるっとよいどころ祭り」の開催、中泊町からの調査の受託、大間町との連携協定に基づく「第6次大間町総合計画審議会」への参画など、これまでの取組に加え、令和2年度 年度計画に基づく新規又は重点的な取組を確実に実施してきた。

また、コロナ禍において、オンライン授業の環境構築や学内Live中継授業システムの準備、経済的困窮学生のための授業料の延納・分割を可能とするなど、積極的に学生支援を行いながら、年間を通じて対面授業を実施し、教育の継続、水準の維持を果たすことができた。

＜上記以外 第3 業務運営の改善及び効率化 第4 経営・財務内容の改善 第5 自己点検・評価及び当該状況 第6 その他業務運営＞

業務運営の改善及び効率化については、これまでの取組に加え、

○ 広報活動の推進として、新しいホームページの運用、facebookの活用、学部・学科・就職支援等の動画を発信。なお、イメージ動画は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、配信までには至らなかったものの令和3年度の春の完成予定。

など、令和2年度 年度計画に基づく新規又は重点的な取組を確実に実施してきた。

経営・財務内容の改善、自己点検・評価及び当該状況については、年度計画に基づき新規又は重点的な取組はなかったものの、これまでの取組を着実に実施してきた。

その他業務運営については、これまでの取組に加え、

① 施設設備の整備・活用等として、青森市主催の「AOMORIトリエンナーレ2020」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となったが、代替として青森市が「ねぶたアート創生プロジェクト」の会場として作品を展示、青森県内の美術関連施設5館で構成する「青森アートミュージアム5館連携協議会」に参画

② 情報セキュリティの強化のため、「情報セキュリティポリシー」を改訂し、学内教職員及びホームページで周知

など、令和2年度 年度計画に基づく新規又は重点的な取組を確実に実施してきた。

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
(1) 学生の育成に関する目標を達成するための措置 【学士課程】 ・入学生に対し本学学部 ¹ の教育目標・教育方針について周知を徹底する。 ・シラバス（講義計画・概要）において到達目標を明示し、それに基づく適切な授業運営及び成績評価を行う。 ・GPAに基づく成績評価を徹底し、成績優秀者の表彰及び成績不振者の個別指導を充実させる。	入学生に春学期オリエンテーション及び大学基礎演習において、学部 ¹ の教育目標・教育方針の周知を徹底する。 シラバス（講義計画・概要）において到達目標を明示し、それに基づく適切な授業運営及び成績評価を行う。	新入生オリエンテーション及び大学基礎演習において、教育目標・教育方針の周知を行った。 ◇新入生オリエンテーション（4/17） ◇大学基礎演習（春学期 全7回）	B	1		
		成績優秀者に対する表彰及び成績不振者に対する面談を実施した。 ◇春学期成績優秀者表彰 春学期表彰者：80名 ◇春学期成績不振者面談実施（9/1～11） 面談対象者：21名 ◇秋学期成績優秀者表彰 春学期表彰者：105名 ◇秋学期成績不振者面談実施（3/3～15） 面談対象者：3名	B	2		
【大学院課程】 ・入学生に対し本学大学院の教育目標・教育方針について周知を徹底する。 ・シラバス（講義計画・概要）に基づく適切な授業運営及び成績評価を行う。	GPAを活用した基準を基に、成績優秀者表彰及び成績不振者の個別指導を継続して実施する。	大学院オリエンテーションにおいて、新入生に対し学生便覧の配付及び説明を行い、大学院の教育目標・教育方針の周知を行った。 ◇大学院オリエンテーション（春学期：4/11 秋学期：9/12）	B	3		
	シラバス（講義計画・概要）において、到達目標を明示し適切な授業運営及び成績評価を行う。	各授業科目のシラバスに到達目標、評価基準を明示し、それに基づいて授業運営及び成績評価を行った。	B	4		
(2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置 ① 教育プログラムの検証・再編 【学士課程】 ・学生及び卒業生に対する授業評価に関するアンケート等を実施し、その結果に基づく教育改善を推進する。 ・「経営経済の専門性を持った教養人の育成」という教育目標を達成するため、教育プログラムを再編する。	シラバス（講義計画・概要）において、到達目標を明示し適切な授業運営及び成績評価を行う。	各授業科目のシラバスに到達目標、評価基準を明示し、それに基づいて授業運営及び成績評価を行った。 各授業において、授業評価アンケートを実施し、学生からの意見に対する教員からの回答を取りまとめ、図書館で公開した。また、アンケート結果をどのように授業へ反映したかを各科目のシラバスに掲載した。 ◇授業評価アンケート 春学期：6/23～7/29 秋学期：10/19～12/28	B	5		
	授業評価に関するアンケート等の結果を基にした教育改善の推進を継続して実施する。	各授業において、授業評価アンケートを実施し、学生からの意見に対する教員からの回答を取りまとめ、図書館で公開した。また、アンケート結果をどのように授業へ反映したかを各科目のシラバスに掲載した。 ◇授業評価アンケート 春学期：6/23～7/29 秋学期：10/19～12/28	B	6		
	2020年度からのカリキュラム改正で新たに設置する科目を開設する。	2020年度から新たに設置した下記の4科目を開設した。 ◇「Business English A」 ◇「Business English B」 ◇「Advanced Business English A」 ◇「Advanced Business English B」	B	7		

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
		2019年度からの新たな教職課程制度のもと、優れた教員の養成に向けた学修指導を行う。	2019年度からの新たな教職課程制度について、春学期オリエンテーションの教職ガイダンスで周知し、優れた教員の養成に向けた学修指導を行った。	B		8
【大学院課程】 ・大学院生及び修了生に対する授業評価に関するアンケート等を実施し、その結果に基づき教育改善を推進する。 ・現行カリキュラムの検証及び必要な改善を図る。	大学院生及び修了生に対する授業評価に関するアンケート等を実施し、その結果に基づき教育改善の推進を継続する。		各科目において授業評価アンケートを実施し、その結果を踏まえ、教員が授業内容を検証し、次年度のシラバスへ反映させた。 ◇授業評価アンケート調査 春学期：6/23～7/29 秋学期：10/19～12/28	B		9
	② 教育方法の改善 【学士課程】 ・FD（教員の教育・研究の質の向上を図るための取組）を通じて、教員間の学生指導に関する情報共有を行い、教育方法や実施体制の改善を行う。 ・大学での学修の進め方を学ぶための初年次教育を充実させる。 ・他大学や企業等との連携を図り、単位互換や実社会を教育現場とする体験学習など、学部における学修機会の充実に努める。 ・ICT（情報通信技術）を活用したアクティブラーニングを導入し、学生が能動的に学修できる教育方法への改善を推進する。	高度専門職業人の育成を推進し、志願者の更なる確保を図るため、新たに「履修証明プログラム」を実施する。	データ分析士（経営経済）の「履修証明プログラム」を開講することとしHPで募集を行い、受講者1名から申込があった。	B		10
		教員の教育方法や実施体制の改善を目指すため、FD（教員の教育・研究の質の向上を図るための取組）研修を実施する。	学部の教員向けについては、「オンライン授業」、「公的研究費の不正使用の防止」、「研究活動上の不正行為」及び「公的研究費ハンドブックの改正事項等」を、大学院の教員向けについては、「多様化する学生に対する大学院教育の方法」をFD研修として実施した。 ◇実施日：学部8/27、大学院10/2	B		11
		1年次科目「大学基礎演習」及び「学習導入演習」の授業内容の検証及び必要な改善を継続する。	授業評価アンケートを実施し、その結果を踏まえ、授業内容を検証し、次年度のシラバスに反映させた。 ◇大学基礎演習（6/25～7/1） ◇学習導入演習（7/17～29）	B		12
		単位互換協定を締結する大学と連携し、科目の調整を行うなど、単位互換制度を実施する。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各大学と調整した結果、今年度の単位互換は中止となった。	B		13
		授業やゼミ活動等により、アクティブラーニング室の有効活用を図る。	アクティブラーニング室において、授業等により前年度を約50コマ上回る計379コマの活用がなされた。	A	2019年度 351（前期年比+75） 2020年度 323（前期年比-70） 21年度 330（前期年比+6） 22年度 379（前期年比+48）	14
【大学院課程】 ・FD（教員の教育・研究の質の向上を図るための取組）を通じて、教員間の学生指導に関する情報共有を行い、教育方法や実施体制の改善を行う。 ・他大学や企業等との連携を図り、大学院における学修機会の充実に努める。	教員の教育方法や実施体制の改善を目指すため、大学院に特化したテーマのFD研修を実施する。		学部の教員向けについては、「オンライン授業」、「公的研究費の不正使用の防止」、「研究活動上の不正行為」及び「公的研究費ハンドブックの改正事項等」を、大学院の教員向けについては、「多様化する学生に対する大学院教育の方法」をFD研修として実施した。 ◇実施日：学部8/27、大学院10/2	B		15
		単位互換協定を締結する大学と連携し、科目の調整を行うなど、単位互換制度を実施する。（再掲）	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各大学と調整した結果、今年度の単位互換は中止となった。	B		16

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
③ グローバル化への対応 【学士課程】【大学院課程】 ・語学研修や留学制度等、海外における教育機会の充実を図る。	スターリング大学、ワイカト大学パスウェイズカレッジ及びポーストン大学CELOPとの留学・語学研修事業について、授業を使用した留学事業のPRや留学を検討する学生が留学経験者と直接意見交換ができる相談会の開催等、留学参加意識の醸成を図りながら実施する。	2020年度から新たに設置した下記の4科目を開講した。 ◇「Business English A」◇「Business English B」 ◇「Advanced Business English A」 ◇「Advanced Business English B」	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2020年度の全ての留学事業の派遣については中止としたが、来年度からの代替事業を見据え、リモート留学を試行するとともに、令和元年度の留学・語学研修の結果について報告会を実施した。 ◇レギュラー留学（ポーストン大学）報告会（10/21）	B		17
④ 人間としての魅力を高めるための教育 【学士課程】 ・経営経済の専門分野の修得に加え、芸術・文化を理解し、社会的倫理観を身に付けた人材を育成するため、教養科目の充実を図る。	2020年度からのカリキュラム改正で新たに設置する科目を開講する。（再掲）	学部の教員向けについては、「オンライン授業」、「公的研究費の不正使用の防止」、「研究活動上の不正行為」及び「公的研究費ハンドブックの改正事項等」を、大学院の教員向けについては、「多様化する学生に対する大学院教育の方法」をFD研修として実施した。 ◇実施日：学部8/27、大学院10/2	B			18
(3) 教育の専任体制に関する目標を達成するための措置 ① 教員の教育指導能力の向上 【学士課程】【大学院課程】 ・教員の指導能力の向上を図るため、FD活動を充実させるとともに、授業評価に関するアンケート等の結果を踏まえ検証し、改善する。	各教室内設備の不具合等に迅速に対応するとともに、TA（学生による授業補助者）制度を継続して実施し、授業環境の維持向上を図る。 教員に各交流施設等の情報提供を実施し、授業での活用を促す。	学部の教員向けについては、「オンライン授業」、「公的研究費の不正使用の防止」、「研究活動上の不正行為」及び「公的研究費ハンドブックの改正事項等」を、大学院の教員向けについては、「多様化する学生に対する大学院教育の方法」をFD研修として実施した。 ◇実施日：学部8/27、大学院10/2	B			19
② 教育環境の整備 【学士課程】 ・教室内の設備の充実やTA（学生による授業補助者）制度の活用により、授業の環境を整える。 ・教育課程における国際芸術センター・青森、国際交流ハウス等の交流施設及び設備の活用を推進する。 ・地元地域を教育現場とする教育方法を推進する。 ・語学研修や留学制度等、海外における教育機会の充実を図る。 ・新しい情報システムを導入し、教育環境の充実を図る。	各教室内設備の不具合等に迅速に対応するとともに、TA（学生による授業補助者）制度を継続して実施し、授業環境の維持向上を図る。 教員に各交流施設等の情報提供を実施し、授業での活用を促す。	各教員への授業運営経費要望調査により、教材及び教室設備、TA利用のニーズを把握し、令和3年度予算に反映させた。 ◇授業運営経費要望調査：11月実施	B			20
	教員に各交流施設等の情報提供を実施し、授業での活用を促す。	教員へ各交流施設等に係る情報提供を行い、授業での活用を促した。	B			21
	地元地域を教育現場とするゼミ活動やフィールドワーク等を円滑に実施できるよう、交通手段を確保する。	地域みらい学科のゼミ活動、経済学科フィールドスタディにおいて、各教員へ地元情報を提供するとともに、学外での活動に必要なパスを手配した。 ◇パス利用実績 ・地域みらい学科 8件	B			22

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
		スターリング大学、ライカト大学、バスクウェイズカレッジ及びボストン大学CELEOPとの留学・語学研修事業について、授業を活用した留学事業のPRや留学を検討する学生が留学経験者と直接意見交換ができる相談会の開催等、留学参加意識の醸成を図りながら実施する。(再掲)	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2020年度の全ての留学事業の派遣については中止としたが、来年度からの代替事業を見据え、リモート留学の試行及び前年度実施分について報告会を実施した。 ◇レギュラー留学（ボストン大学）報告会（10/21）	B		23
	【大学院課程】 ・サテライトの有効活用を図るとともに、遠隔授業の利用推進を図る。	社会人学生に向けて、サテライトでの授業及び遠隔授業システムの利用についてオリエンテーション等を通して周知を行う。	オリエンテーションにおいて、遠隔授業システムについて周知を行うとともに、必要に応じて各担当教員から学生に対し詳しい説明を行った。 ◇大学院オリエンテーション（4/11）	B		24
	③ 学修環境の整備 【学士課程】 ・学部のニーズを把握し、学修環境の利便性を向上させる。 ・学修に関する情報収集及び学生への情報発信を充実させる。 ・新しい情報システムを導入し、学修環境の充実を図る。	授業評価に関するアンケート等の結果から学修環境に関する学生のニーズを把握し、必要な改善を行う。	学生に対する授業アンケートや卒業アンケートの結果を踏まえ、学修環境に関するニーズを把握し、講堂、交流ホール等のWi-Fi環境整備や教室のプロジェクト・ディスプレイの更新を行った。 また、秋学期オリエンテーションにおいて、パソコンによる履修登録・履修シミュレーションの利用方法を説明し、積極的な活用を促した。 ◇授業評価アンケート 春学期：6/23～7/29 秋学期：10/19～12/28 ◇卒業アンケート：3/1～3/15（Webアンケート）	B		25
		良好な学修環境や教育研究環境を確保するため、学内のWi-Fi環境整備や講義室の情報機器更新等を進める。	学生食堂・交流ホール・喫茶室のWi-Fi環境整備及び中講義室のプロジェクト・ディスプレイの更新を行い、良好な学修環境や教育研究環境を確保した。 また、コロナ禍での学習環境を確保するため、オンライン授業のできる環境を構築し、さらに学内Live中継授業システムの導入準備を行った。	A		26
	【大学院課程】 ・大学院生の研究成果を発表する機会について検証及び必要な改善を行う。 ・大学院生のニーズを把握し、学修環境の利便性を向上させる。 ・大学院生へPCの貸与を行う。	前期課程の中間報告会や後期課程の研究報告会の開催日程等について、社会人大学院生に配慮した日程での開催を実施する。	博士前期課程の中間報告会及び博士後期課程の研究報告会を社会人大学院生が参加しやすいよう日時を調整し実施した。 ◇博士前期課程中間報告会：該当者なし ◇博士後期課程研究報告会：2/6（土） 10：00～	B		27
		学修環境に関する大学院生のニーズ調査を実施し、必要な改善を行う。	より具体的なニーズを把握し、検討課題とするため、下記の期間にニーズ調査を実施し、学生の研究室の管理方法を改善した。 ◇ニーズ調査期間（9/12～9/30）	B		28
		研究室でPCが必要な大学院生にPCを貸与する。	貸与を希望する学生にPCの貸与を行った。 ◇PC貸与数 12名	B	H29年度 6名 H30年度 6名 R1年度 7名 R2年度 12名	29

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
<p>(4) 学生の受入に関する目標を達成するための措置 【学士課程】 ・本学のアドミッションポリシーに相応しい入学を受け入れられるよう、全入学定員の3倍程度の志願者を常に確保する。 ・青森県内からの入学者の増加を図る。 ・大学間競争の激化に対応した選抜方法（入試期日、試験会場など）の見直しを継続する。 ・県内・県外への高校訪問をさらに拡充し、入学希望者の増加を促進させる。 ・出前講義、大学見学を積極的に実施する。 ・入試に関わる広報を充実させる。 ・高大連携の一環として、特別講座（年3回）を開催する。</p>		<p>2020年度からの入学選抜を、2019年度までに決定した変更点を踏まえ的確に実施する。</p>	<p>2019年度までに決定した変更点を基に、2020年度の選抜方針を決定した。また、それぞれの選抜前に入試委員会において、2020年度の方針を踏まえた実施方法の詳細を決定し、入学選抜を的確に実施した。</p>	B		30
		<p>志願者動向の把握や分析（入学検定料の減免を含む）を行いつながら、効果的な入試に関わる広報を実施する。</p>	<p>教員による「データ分析チーム」を組織し、学内外のデータを基に分析を行った。秋田の志願者増加傾向の報告を受け、試験的に本学主催進学説明会を秋田市で実施し、今後も継続的に実施することとした。 ◇本学主催進学説明会 秋田会場 8/1 秋田市アルヴェ 29名参加</p>	B		31
		<p>オープンキャンパスにおいて無料バス送迎や学内のキャンパスツアーを実施する。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オープンキャンパスにおける無料送迎バスの運行・キャンパスツアーの実施を見合わせたものの、代わりに大学Webサイトの「デジタルキャンパス」コーナーに各種入試関連の動画を充実させ、参加が困難であった者に対してもPRを行った。</p>	B		32
		<p>積極的な高校訪問の実施や各種進学説明会等への参加により、入学希望者の増加を促進する。</p>	<p>延べ114校の県内外の高校訪問を実施したほか、本学主催の進学説明会を8回実施し、業者等主催の説明会に19回参加した。 ◇春学期 45校訪問（県内のみ） ◇秋学期 69校訪問（県内45校、県外24校） ◇進学説明会 本学主催：8回開催 延べ356名参加 業者等主催：19回開催 延べ268名参加</p>	B		33
		<p>出前講義、大学見学を積極的に実施する。</p>	<p>出張講義を14回実施し、大学見学を7校受け入れた。 ◇出張講義 14回（県内11校、県外3校） ◇大学見学 7校（県内のみ）</p>	B		34
<p>高大連携の一環として、特別講座を開催する。</p>	<p>青森市内の高校生を対象とした高大連携事業特別講座を本学で2回実施した。 第1回 7/8 市内9校、168名参加 第2回 10/7 市内7校、133名参加</p>	B		35		

第2章 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
<p>【大学院課程】 ・入学定員と同程度の志願者を常に確保する。 ・学部からの進学を促進させる。 ・学部教育との連携の円滑化を図る。 ・社会人入学者を確保するため、行政機関や民間企業等への働き掛けを充実させる。 ・入試に関わる広報を充実させる。</p>		<p>大学院における高度専門職業人の育成を推進し、志願者の更なる確保を図るため、新たに「履修証明プログラム」を開設する。（再掲）</p>	<p>データ分析士（経営経済）の「履修証明プログラム」を開設することとしHPで募集を行い、受講者1名から申込があった。</p>	B		36
<p>(5) 学生への支援に関する目標を達成するための措置 ① 学生生活支援 【学士課程】 ・生活困窮者等に対する授業料減免や各種奨学金制度の情報提供等、学生生活支援を充実させる。 ・課外活動の活性化を支援するための施設・設備を充実させる。 ・後援会及び同窓会の活動支援を行う。 ・社会活動における学生と地域との交流を支援する。 ・充実した学生生活を送れるように、学修アドバイザー制度の見直しを行う。 ・学生の心身の健康増進のためにカウンセラーを積極的に活用する。 ・留学生の学生生活の向上のため支援を行う。 ・保護者と大学が連携した学生生活支援を推進する。 ・食堂や売店などの福利厚生施設及び内容の充実を図る。 ・ハラステメントの防止・対策に向けた取組を行う。</p>		<p>学部教育との連携の円滑化を図るとともに、大学院学内進学促進ポスター等の掲示や進学も視野に入れた就職相談を実施する等、キャリアアドバイザーとの連携を密にし、学部からの進学を促進させる。</p>	<p>学内進学特待奨学生制度や本学学部卒業（見込み）生を対象とした入学料減免制度を継続した。大学院入学案内パンフレット及びポスターを学内及び本学Webサイトへ掲出し、各教員からゼミ生への大学院進学の見込みを積極的に紹介するとともに、キャリアセンターでの進路相談における選択肢の一つとして、本学大学院への進学を紹介した。また、それらの内容をまとめて9月23日に学内進学者向けの説明会を実施した。</p> <p>◇2021年度入試 学内推薦選抜入学者 1名</p>	B		37
<p>(5) 学生への支援に関する目標を達成するための措置 ① 学生生活支援 【学士課程】 ・生活困窮者等に対する授業料減免や各種奨学金制度の情報提供等、学生生活支援を充実させる。 ・課外活動の活性化を支援するための施設・設備を充実させる。 ・後援会及び同窓会の活動支援を行う。 ・社会活動における学生と地域との交流を支援する。 ・充実した学生生活を送れるように、学修アドバイザー制度の見直しを行う。 ・学生の心身の健康増進のためにカウンセラーを積極的に活用する。 ・留学生の学生生活の向上のため支援を行う。 ・保護者と大学が連携した学生生活支援を推進する。 ・食堂や売店などの福利厚生施設及び内容の充実を図る。 ・ハラステメントの防止・対策に向けた取組を行う。</p>		<p>学内掲示板及び学内Webサイトを利用した、授業料減免制度及び各奨学金に関する積極的な情報発信を行う。</p>	<p>学内掲示板、大学公式ホームページ、学内専用ホームページ、成績通知表に同封する案内を活用し、授業料減免制度や奨学金に関する情報を提供した。 ◇授業料減免・分割納入申請の案内 ◇奨学金説明会実施の案内 ◇新たな修学支援制度の案内</p>	B		38
<p>(5) 学生への支援に関する目標を達成するための措置 ① 学生生活支援 【学士課程】 ・生活困窮者等に対する授業料減免や各種奨学金制度の情報提供等、学生生活支援を充実させる。 ・課外活動の活性化を支援するための施設・設備を充実させる。 ・後援会及び同窓会の活動支援を行う。 ・社会活動における学生と地域との交流を支援する。 ・充実した学生生活を送れるように、学修アドバイザー制度の見直しを行う。 ・学生の心身の健康増進のためにカウンセラーを積極的に活用する。 ・留学生の学生生活の向上のため支援を行う。 ・保護者と大学が連携した学生生活支援を推進する。 ・食堂や売店などの福利厚生施設及び内容の充実を図る。 ・ハラステメントの防止・対策に向けた取組を行う。</p>		<p>2020年度からの高等教育無償化制度に適切に対応するため、国の動向を注視しながら、必要に応じて学内の規程等の見直しを行う。</p>	<p>新たな修学支援制度として、高等教育無償化制度に適切に対応しながら、コロナ禍において経済的に困難している学生を支援するため、授業料の延納・分割を行えるよう規程等の改正を行った。</p>	B		39
<p>(5) 学生への支援に関する目標を達成するための措置 ① 学生生活支援 【学士課程】 ・生活困窮者等に対する授業料減免や各種奨学金制度の情報提供等、学生生活支援を充実させる。 ・課外活動の活性化を支援するための施設・設備を充実させる。 ・後援会及び同窓会の活動支援を行う。 ・社会活動における学生と地域との交流を支援する。 ・充実した学生生活を送れるように、学修アドバイザー制度の見直しを行う。 ・学生の心身の健康増進のためにカウンセラーを積極的に活用する。 ・留学生の学生生活の向上のため支援を行う。 ・保護者と大学が連携した学生生活支援を推進する。 ・食堂や売店などの福利厚生施設及び内容の充実を図る。 ・ハラステメントの防止・対策に向けた取組を行う。</p>		<p>課外活動の活性化を図るため、サークルに対し、施設・設備に関するニーズ調査を実施し、必要な改善を行う。</p>	<p>昨年度の要望事項について、Wi-Fi環境の整備を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今年度はニーズ調査の代替としてサークル代表委員会において、意見聴取を行った。</p>	B		40
<p>(5) 学生への支援に関する目標を達成するための措置 ① 学生生活支援 【学士課程】 ・生活困窮者等に対する授業料減免や各種奨学金制度の情報提供等、学生生活支援を充実させる。 ・課外活動の活性化を支援するための施設・設備を充実させる。 ・後援会及び同窓会の活動支援を行う。 ・社会活動における学生と地域との交流を支援する。 ・充実した学生生活を送れるように、学修アドバイザー制度の見直しを行う。 ・学生の心身の健康増進のためにカウンセラーを積極的に活用する。 ・留学生の学生生活の向上のため支援を行う。 ・保護者と大学が連携した学生生活支援を推進する。 ・食堂や売店などの福利厚生施設及び内容の充実を図る。 ・ハラステメントの防止・対策に向けた取組を行う。</p>		<p>後援会及び同窓会の事務局として、円滑な運営・活動ができるよう支援する。</p>	<p>後援会及び同窓会の活動について、役員と連携し実施した。 ◇後援会 ・総会（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止） ・役員会（4/5、8/2、1/24） ◇同窓会 ・総会（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止）</p>	B		41
<p>(5) 学生への支援に関する目標を達成するための措置 ① 学生生活支援 【学士課程】 ・生活困窮者等に対する授業料減免や各種奨学金制度の情報提供等、学生生活支援を充実させる。 ・課外活動の活性化を支援するための施設・設備を充実させる。 ・後援会及び同窓会の活動支援を行う。 ・社会活動における学生と地域との交流を支援する。 ・充実した学生生活を送れるように、学修アドバイザー制度の見直しを行う。 ・学生の心身の健康増進のためにカウンセラーを積極的に活用する。 ・留学生の学生生活の向上のため支援を行う。 ・保護者と大学が連携した学生生活支援を推進する。 ・食堂や売店などの福利厚生施設及び内容の充実を図る。 ・ハラステメントの防止・対策に向けた取組を行う。</p>		<p>学生が地域の社会活動に参加しやすいよう、地域の催しの情報提供及びボランティア募集に係る情報提供等の支援を行う。</p>	<p>学内掲示板に地域情報及びボランティア情報を掲示し、情報提供を行った。また、青森市ボランティア制度について周知した。 ◇青森市ボランティアポイント制度への登録サークル 硬式野球部、よさこいサークル</p>	B		42

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
 1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
		学修アドバイザー制度を検証し、必要な改善を行う。	大学基礎演習と学修アドバイザークラスミーティングにおいて、GPA制度、退学勧告を含む成績不振等について説明するとともに、過度なアルハイオトやブラッキングバイトが疑われるアルハイオトへの従事が成績不振につながる傾向があることを重点事項として説明した。 また、春学期において、欠席が多い学生について、担当教員間で情報共有し、必要に応じて学生への連絡及び面談指導を行った。	B		43
		学生にメンタルヘルス相談室及びカウンセラーの効果的な活用を促す。	各学期のオリエンテーションにおいて、メンタルヘルス相談室の必要に応じた利用を促した。 ◇メンタルヘルス相談室（水・金） 相談件数 130件 ◇カウンセラー（月2回） 相談件数 3件	B		44
		留学生からの相談に対応し、必要な支援を行う。	留学生からの相談に随時対応し、在留資格の更新など必要な支援を行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で日本に入国できない留学生に対しては、オンラインで授業に参加できるように、支援をした。 ◇在籍留学生 4名	B		45
		心身の健康状態が不調の学生や成績不振学生に対し、大 学と保護者等が情報共有等を行いながら対応する。	保健室、メンタルヘルス相談室、教職員が連携し、心身に不調をきたす学生や授業の欠席が目立つ学生の情報共有を継続的に行うとともに、必要に応じて保護者への情報提供等を行った。 ◇保健室利用件数 1,362件 ◇メンタルヘルス相談件数 130件	B		46
		食堂、売店、カフェのサービス向上を目的としたモニタ リングを実施し、改善すべき点については委託業者と協 議するとともに、食堂や売店の満足度向上を図るため、 アンケート結果を踏まえて改善に向けた取組を行う。	食堂・売店においてモニタリング、カフェにおいてアンケートを実施し、寄せられた意見及び要望は、委託業者に対して通知した。 また食堂・売店については、昨年度実施したアンケート結果を踏まえ、改善に向けた取組として、券売機の増設、デザートの実売、弁当の販売、回数券の導入、食堂開放時間の延長、後援アンケート結果を実施した結果、利用者の満足度（5点満点）が3.0から3.3に向上した。 ◇食堂・売店モニタリング（11/10～20）：回収数 96名 ◇アンケート（11/16～20）：回収数 29名	B		47
		ハラスメント防止対策委員会において、学内におけるハ ラスメント防止に向けた取組を行う。	学生及び教職員など関係者を対象に、ハラスメント防止の取組やハラスメントに係る相談窓口を明記した「ハラスメントに関する手引書」を配布した。	B		48

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
		修学上の特別な配慮が必要な学生に対し、必要な配慮・支援を行うとともに、定期的な面談を行い、支援状況の確認や見直しを行う。	障害者差別防止・解決委員会において、修学上の配慮が必要な学生に対する支援等について検討し、支援・配慮を行うとともに、学生との定期的な面談等を通じて必要な配慮や支援を行った。（年4回面談を実施） ◇障害者差別防止・解決委員会（全3回） ◇修学上の配慮が必要な学生：新規1名 継続8名	B		49
	【大学院課程】 ・大学院特待奨学生制度の適正な運用を図る。 ・大学院生のニーズを把握し、大学院生の福利厚生を向上させる。	大学院特待奨学生の審査基準を適正に運用する。	大学院特待奨学生審査基準に従い、継続及び新規認定の審査を実施した。 ◇継続申請者 3名認定 ◇新規申請者 2名認定	B		50
		研究室等に関する大学院生のニーズ調査を実施し、必要な改善を行う。	より具体的なニーズを把握し、検討課題とするため、下記の期間にニーズ調査を実施し、学生の研究室の管理方法を改善した。 ◇ニーズ調査期間（9/12～9/30）	B		51
② キャリア支援 【学士課程】 ・就職及び進学支援に関するキャリア戦略を推進する。 ・就職専門員などによる既卒者も含めた就職先の新規開拓を進める。 ・行政、地元企業や関係機関、団体と連携した就職支援体制を充実させる。 ・インターンシップによる就業体験を充実させる。 ・就職率100%を目標としつつ、最低96%台を毎年度維持する。 ・同窓会組織と連携を図り、就職支援ネットワークの強化を図る。 ・進路選択のための情報収集を拡充し、もってキャリア教育の充実を図る。	県内の企業・関係団体と連携し、「県内企業バスツアー」をコースを拡充して開催する。	全学年を対象に、昨年度よりも1コース追加して、県内企業バスツアーを実施した。 ・10/6～11/4 12コース34社 172名（延べ226名）参加	B		52	
		インターンシップに対する理解を深め、積極的な参加を促すために、インターンシップガイダンスを開催し、学生に適切な説明を行う。	学生が参加する機会が集中するそれぞれの長期休暇前にガイダンスを実施し、積極的な参加を促した。 ・インターンシップガイダンス夏編（5/14開催、計113名参加） ・インターンシップガイダンス冬編（11/19開催、計98名参加）	B		53
		学生への就職支援を行うため、就活ハンドブックを作成し、3年次生と教員全員へ配付する。	就活ハンドブックを作成し、3年生及び全教員に6月に配付した。	B		54
		同窓会組織と連携した就職支援ネットワーク構築に向けた検討を継続する。	大学ハンブルレットやキャリア形成通信などの印刷物やキャリア形成講座の卒業生枠について、必要があれば、同窓会役員に依頼し、出演者を紹介していただくこととした。	B		55
		早期からキャリア教育を充実したものとするため、キャリア形成通信を新入生にも配付する。	6月1・3日に開催した第1回キャリア形成講座にて、参加した新入生に配付し、就職指導委員長から説明を行った。	B		56
	【大学院課程】 ・大学院生へのキャリア支援を充実させる。	ガイダンスの実施や就職相談など大学院生へのキャリア支援を実施する。	学部と同様にキャリアセンターでの模擬面接や履歴書の添削を実施する体制を整えており、大学院生の状況把握にも努めているが、今年度は修了生がいなかった。	B		57

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
 1 教育に関する目標を達成するための措置

中期計画 実施事項及び内容		年度計画の内容 年度計画の達成するための措置	業務の実績（計画の進捗状況）	自己評価	備考	No
第2-1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置						
		A：年度計画を上回って実施している	2			
		B：年度計画を十分に実施している	55			
		C：年度計画を十分には実施していない	0			
		D：年度計画を実施していない	0			

特記事項		備考
<p>コロナ禍で様々な制約がある中、年間を通じて対面授業を実施し教育の継続、水準の維持に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入国できない留学生に対するオンラインでの授業 ○ 留学事業の派遣中止の代替として、リモート留学の試行 ○ オンライン授業の派遣中止の代替として、学内Live中継授業システム導入の準備 ○ 経済的困難留学生支援のため、授業料の延納・分割を可能とするよう規程等の改正 ○ オープンキャンパスの2部制による実施及びデジタルキャンパスの充実 <p>図書館運営について、前年度に引き続きポップコロンテストを開催したほか、地域連携センターと共同実施により館内でねぶた展示を行うなど、利用促進を図った。</p>		